

神田外語大学の学生が取材に来訪

8月26日（火）、神戸外語大学の学生が、「震災復興新聞」制作の一環としてトロピカルフルーツミュージアムへ取材に訪れました。本事業は福島県の後援を受け、福島民報社の協力を得て行われたものです。

学生さん達は、振興公社の中津社長からこれまでの広野町の復興の歩みや国産バナナ「綺麗」誕生までの想い、今後の展望などに関する話をメモをとりながら熱心に聞いていました。ハウスでの現地見学では、地中熱エネルギーや収穫後の茎や葉の残渣^{さんさ}利用についての説明と意見交



地中熱エネルギーの説明を受ける学生

ひろのてらす駐車場周辺の草刈りを実施



ひろのてらすでの草刈りの様子

9月14日（日）、ひろのてらす駐車場周辺の草刈りを行いました。以前は土で雑草が生えていた部分が、インターロッキングになって以降、草刈りの作業時間が大幅に短縮されたのですが、今回はインターロッキングの隙間やベンチの足部分から雑草が生えており、これらを刈るのに苦戦しました。

当日は、ひろのてらすの営業時間内に作業を行ったため、車両への跳ね石には特に注意し、跳ね石防止用のネットを使用しつつの作業となりました。

ふたば未来学園中学生の発表会に出席

9月25日（木）、ふたば未来学園の中学3年生による「令和7年度 未来創造学生徒研究発表会」に出席しました。この発表会は、中学生がいくつかのグループに分かれ、双葉郡内の町村でフィールドワークを行った結果の発表会です。

トロピカルフルーツミュージアムにも中学生5名がフィールドワークに訪れ、「バナナの残渣^{ざんさ}で紙を作りたい」と提案がありました。ユニークな発想に驚きましたが、商品化に向けて生徒たちと協力しながら作業を行い、トライアンドエラーの連続でしたが、試行錯誤をしながら作業に取り組みました。

結果的に商品化までは至りませんでしたが、生徒たちの目標に向かって努力する姿は素晴らしく、振興公社としても大変貴重な機会になりました。

発表を終えたトロピカル班の5名



公式サイト



公式インスタ

広野で見つける暮らしのカタチ
広野暮らし相談窓口 「りんくひろの」



お知らせ 広野町「地域応援サポーター」交流会を開催します

11月30日（日）に「地域応援サポーター」交流会を開催します。地域応援サポーター、町民、移住された方々と交流を図ることを目的とし、町民に親しまれている二ツ沼総合公園を会場に開催します。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。

- | | |
|---------|---|
| ■開催日時 | 令和7年11月30日（日） 午前10時30分～午後1時30分 |
| ■会場 | ニッ沼総合公園（カフェ・レストランニッ沼、パークゴルフ場） |
| ■参加費 | 無料（お昼は各自負担） |
| ■定員 | 20名 |
| ■内容 | パークゴルフ体験、アートを巡る公園散策、クリーン作戦、懇親会 |
| ■お申し込み先 | 広野暮らし相談窓口「りんくひろの」 広野町復興企画課内 ☎0240-27-1251 |

お知らせ 「JOIN移住・交流&地域おこしフェア2025」に出展します

「りんくひろの」では、町の魅力をより多くの方に知っていただくため、首都圏を中心に開催される移住フェアへ出展しています。今回の移住フェアは全国から300の自治体が出展する移住フェアです。移住やUターンをお考えのご家族・ご友人がいらっしゃいましたら、ぜひこの機会をご紹介します。

- 開催日時 2025年11月22日（土）午前11時～午後5時
■会場 東京ビッグサイト 東7ホール
■参加費 無料



地域おこし
協力隊
ひろの日記



こんにちは！ 広野町地域おこし協力隊の石田です。
10月は、ふたばワールド2025 in かわうちに出席しました！ 広野町ブースでは、ひろばーのぬりえと広野町の魅力PRをしました。

ひろぼーのぬりえは子どもから大人まで大人気でした！

いわき市から遊びに来ていた子どもたちは、「ひろぼー知らなかった！かわいいね」「とんぼのめがね知ってるよ！広野町で生まれた童謡なんだね」とお話ししてくれました。広野町やひろぼーのことをたくさんの人に知ってもらえて嬉しかったです！



ひろぼーのぬりえを楽しむ子どもたち



広野町魅力PRの様子

問 広野暮らし相談窓口「りんくひろの」 ☎0240-27-1251